



新春対談

「地域の人事部」でつながる 学生とまちの未来

問 広報情報課 内 3323

地域が一体となって企業の人材確保・育成・定着に取り組む「地域の人事部」^{*}。その活動に対する思いを、代表の吉田正さん(株式会社ファミリー社長)と参加者の片桐一揮さん(愛知学院大4年)に、市長が伺いました。

進行役は、可児市ふるさと応援番組「いきマイ+」^{プラス}でおなじみの丹羽光代さんです。(文中、敬称略)

^{*}経済産業省が推進する「地域の人事部」の取り組みに基づく団体「中濃・東濃地域の人事部セントリンク」を指します。

地域の人事部について

丹羽 あけましておめでとうござい
す。今回、どうしてお2人にお越し
いただいたのでしょうか。

市長 地域の人事部についてだけだ
なく、吉田さんには地域の人事部の立
上げへの思いや、実際に活動されて
の感想を伺いたく、お越しいただきま
した。片桐さんには参加した動機や率直
な感想を伺いたいと思っています。

丹羽 地域で活躍している大人と学生
が交流する場を提供する地域の人事
部。どのような思いで立ち上げたので
すか。

吉田 1つは、若い人たちに「働く」と
いうことを身近に感じてほしいとい
う点です。もう1つは、新卒採用の経験
がない、あるいは教育方法が分からな
い中小企業の皆さんのお力になれば
と思い、立ち上げました。

丹羽 昨年から行われているガクチカ
合宿や社長居酒屋などの取り組みは、
どういったものなのですか。

吉田 ガクチカ合宿は就職活動の面接
などよく聞かれる「学生時代に力を
入れたこと」、いわゆる「ガクチカ」を
つくれるような、貴重な経験の場を提
供したいと考え企画しました。この企
画の背景には、可児市は小中高校生向
けの取り組みは多いのですが、大学生



吉田正さん

向けのもは少ない状況がありまし
た。そこで、合宿を通じて地域につ
いて真剣に考えてもらう場をつくりたい
と考えました。また、合宿に参加した
メンバーが企画する「0距離企業展」も
あり、可児市の約20社の企業と高校
生・大学生が出会う機会を提供して
います。今年は2月11日に開催を予定し
ています。

社長居酒屋は、高校生や大学生、社
長・従業員、一般の人が自由に参加し
てコミュニケーションをとるイベン
トです。

丹羽 活動に参加したきっかけや理由
を教えてください。

片桐 大きく3つあります。1つ目は、
就職活動で、アピールできる経験を増
やしたかったからです。2つ目は、地
元への関心です。可児市に20年以上住
んでいます。地元の企業のことを意
外と知らないなと感じていました。具
体的な事業内容が分からない会社を知
るきっかけになればと思いました。3

つ目は、地域の活性化イベントに興味
があったからです。元々、文化創造セ
ンター・アールで行われている舞台な
どの運営にも関わっていて、何かもっ
と広くやってみたいと思っていました。
吉田さんに声をかけていただき、これ
は実現できるチャンスだと感じて参加
しました。

活動を通して

丹羽 参加してみてどうでしたか。

片桐 企業の皆さんと触れ合う中で
「意外と身近なもの」が可児市でつく
られているという発見がたくさんあり
ました。また、ガクチカ合宿を通して
同じ志を持つ学生同士のつながりも
でき、充実した合宿になりました。

丹羽 地元企業に対しての印象は変わ
りましたか。

片桐 すごく変わりました。これま
では知らなかった企業の魅力を知り、
もっと早く知っていれば「進学せず、
可児市で就職していたかもしれない」
と考えるほどでした。

丹羽 片桐さんのお話を聞いて、活動
を企画した立場としての思いはいかが
ですか。

吉田 片桐さんの今の話し方や自信に
満ちた表情を見て、初めて会った時と
比べて、本当に成長したなと実感して



片桐一揮さん

います。親や先生以外の大人と関わる
ことが若者の成長につながると考えて
いましたが、彼が立派になっていて姿
を見て、この考えに間違いはなかった
と確信が持てました。

丹羽 お話を伺ってみていかがです
か。

市長 学生も大人とつながる機会を実
は望んでいたという話を聞いて、市だ
けではやり切れなかった部分だと気付
かされました。地域の人事部の皆さん
の柔軟な発想で、学生さんとのつなが
りを広げていただいていることが、と
てもありがたいと思いました。

取り組みを進めていくために

丹羽 地域の人事部の今年の抱負を教
えてください。

吉田 まずはこの活動をたくさんの方
生や大人に知っていただき、巻き込ん
で大きくしていきたいです。そして、
地域のことに本気で考える人の

可児市の未来について

丹羽 最後に、これからの可児市をど
んなまちにしていきたいですか。

片桐 「地元で働く」という選択肢を、
若い人たちにもっと考えてほしいと思
います。現状として、友人の多くは県
外に就職していますが、可児市に魅力
を感じてもらうために、学生だけでな
く大人とも関われるイベントがもっと
できればいいなと思います。

吉田 子どもたちにとって「働くこと
が楽しそう」と思ってもらえるよう



対談の様子は、テレビやYouTube
でもご覧いただけます。

○ケーブルテレビ可児



詳細は
25ページ

○可児市公式YouTube
「かにチャンネル」



1月9日(金)
に配信予定